第6回未来会議(全体会) 議事録

日時: 令和3年8月22日(日)13:30~16:40

会場: 西集会所

出席者:(順不同、敬称略)

須都 紘(会長)、伊藤 智子、中谷内 政之(以上 副会長)

鎌田 卓(事務局長)、鈴木 豊(書記・広報)

田口 信義、中世古 昭一、黒部 實、山地 祐輔、山田 勲、須田 健一、野津 拓也、

黒田 勝行、福家 稔、谷猪 富貴子、山田 修

欠席:梅本 慎二郎、蔵田 かほり、渡辺 昇

傍聴:中尾議員(生駒市議会)

配布資料:

- ① 議題
- ② 鹿ノ台未来まちづくり:中期計画(案)骨子
- ③ 転入促進対策調査部会 活動報告
- ④ IT 普及準備委員会(会員&生徒募集)/地域 ICT 連携準備委員会について
- ⑤ 「支え合い活動、どう進めるか?」(いきいき街づくり会の活動を一例に)
- ⑥ 未来会議分科会の設置について

主な議事

須都会長より

- ・本日も生駒市会議員の中尾議員が傍聴されている。
- ・コミュニティバスの実証運行については、連合総会において 86.3%が賛成し、実証運行が 実施されることになったので報告する。この結果は 9 月に生駒市地域公共交通活性化協 議会に正式に報告され、来年 3 月に市議会の承認を経たのち、令和 4 年度に運行事業者 の選定や運輸局への登録が行われる予定である。当初より 1 ヶ月前倒しで来年 8 月頃か ら実証運行が開始される見込みとされている。

鹿ノ台未来まちづくり中期計画(案)骨子について

- ・これまでの議論を踏まえ一部を修正したので、改めて提案する。
- ・各項目は次のとおりの構成である。
 - 1. 鹿ノ台の現状と課題
 - (1) 住民の高齢化進展に伴う課題
 - (2) 少子化・人口減少による課題
 - (3) 緑豊かな住環境への取組みへの参加意識・理解が不足

- (4) 自治連合会に比して単位自治会の活動が弱い
- (5) ICT など先端技術の取り込み活用が不十分
- 2. 鹿ノ台未来まちづくり:理念(まちの将来像) 「みんなでつくる 住みたくなるまち 鹿ノ台」
- 3. 鹿ノ台未来まちづくり:基本目標
- (1) 安全・安心・防災のまちづくり
- (2) 子育てしやすいまちづくり
- (3) 花とみどり豊かな癒しのまちづくり
- (4) 交流・賑わい・文化の香りのあるまちづくり
- 4. 鹿ノ台未来まちづくり:具体的な施策(案)
- (1) 安全・安心・防災のまちづくり
- (2) 子育てしやすいまちづくり
- (3) 花と緑豊かな癒しのまちづくり
- (4) 高齢者のやさしい支え合いのまちづくり
- (5) 交流・賑わい・文化の香りのあるまちづくり
- (6) ICT 技術の活用・普及
- (7) 鹿ノ台自治会組織の課題検証と再構築

意見交換

- ・これらに対する取組みの経過、成果を住民にきちんと伝えるために、ビデオ作成チームの 立ち上げが急務である。
- ・これらの課題、施策は、未来会議と連合会の両方にまたがっているのか。
 - → 両方にまたがっており、すでに取組み済のものも含まれている。全部の課題、施策に これから取組むというわけではない。
- ・ (会長) 特に意見も無いようなので、この案で連合会役員会との連絡会に提案する。

転入促進対策調査部会 活動報告

- ・引き続きビジネスチャットツールを活用してオンラインで意見交換しながら、課題への 対応を進めている。
- ・「鹿ノ台が選ばれる理由」、「選ばれない理由」を把握するため、鹿ノ台において戸建てを 分譲中のハウスメーカーにヒアリングを実施した。

ハウスメーカーへのヒアリング結果

- ・鹿ノ台への転入を検討する人の特徴は、下記のとおり
 - 1. 共働きの子育て世帯で、子どもの平均年齢は2~3歳。
 - 2. 大阪からの転入者が多く、大阪市内に1時間以内で通勤できる他の地域とともに、生駒市が候補となる。
 - 3. 低層住宅専用地を希望している。
 - 4. 生駒市の子育て政策などを事前に調べ、生駒市に好印象を持っている。

- 5. 奈良県の学力の高さ (レベルの高い私立小中高の存在) を評価している。
- 6. 土地の広さは55坪くらいがちょうど良く、土地の資産価値の維持・上昇にも関心がある(リニア駅計画との関係など)。
- ・鹿ノ台を選ばなかった人の、選ばなかった理由は下記のとおり。
 - 1. 住宅地の高低差が大きい
 - 2. 虫が多い
 - 3. 一区画の土地が広すぎる
- ・鹿ノ台を選ばなかった人が選んだ場所は、北登美ヶ丘 (ブランド力)、茨木市彩都 (モノレール始発駅)、実家の近くなどである。
- ・鹿ノ台を選んだ人の選んだ理由は、主に「通勤時間と価格を考えると最適」、「駅から徒歩 圏である(鹿ノ台南と鹿ノ台東限定)」である。
- ・営業担当者が考える鹿ノ台のウリは、始発駅まで徒歩圏 (鹿ノ台東・南)、近隣にスーパーや医療機関がある、価格が安い、自治会活動がしっかりしているなどである。
- ・営業担当者からは下記のアドバイスも受けた。
 - 1. まちの中心におしゃれなカフェなどがあると、若い人に訴求力がある。
- 2. 大阪からの転入者には「鹿ノ台」ではなく「生駒市鹿ノ台」と表記するほうがよい。
- 3. 宅地内への電柱移設や各戸シンボルツリーへのライトアップは街の印象を良くする。 転入候補者への PR
- ・これまでのヒアリングの結果から、転入候補者のメイン・ターゲットを、「小さな子ども (就学前)のいる夫婦」とした。
- ・また、「鹿ノ台が選ばれる理由」は主に下記の4点であることがわかった。
 - 1. 利便性が高い
 - 2. 住環境が良い
 - 3. イベントなど地域活動がしっかり行われている
 - 4. 生駒市である
- ・一方で、「住んでみないとわからない鹿ノ台の良さ」として下記の2点は訴求力を持つと 考えた。
 - 5. 安心・安全である
 - 6. こどもを教育しやすい
- ・これら 6 点をアピールできるよう、不動産事業者の営業所などに置くチラシ (案)を作成した。このチラシは、住む土地を選ぶ主導権を持つ「ママ」に向けた見栄えとした。
- ・また、鹿ノ台の魅力をアピールする Web サイト(案)を作成した。チラシから QR コードを読込むと、このページが参照できる。
- ・「鹿ノ台が選ばれなかった理由」への対応については、対応の有無/可否を含め、中長期 的に取り組むこととなる。

意見交換

・転入促進の取組みにおいて、「生駒市鹿ノ台」という表記をしてよいのか。

- → この取組みは、生駒市広報に相談済。成果物ができたら見せてくださいと言われており、問題はない。市の人口増施策とも合っている。
- ・通学中の見守り活動をやっていることを知らないお母さんもいる。すでに鹿ノ台に住ん でいる子育て世代にも、このような取組みを周知したい。
- ・鹿ノ台はまちづくりで数々の賞を取るなど、地域として高く評価されていることもアピールしたい。ブランドイメージ向上につながる。
- ・町並みの美しさを示す写真があればなお良い。
 - → 良い写真があれば随時、差し替える。Web サイトは、検索したときに上位に出てくる よう、できるだけ更新していきたい。
- ・次のステップとして「高齢者に優しいまち」をアピールしてはどうか。
 - → 転入促進の対象はまず子育て世代をターゲットにしたい。
- ・どこでチラシを配布するのか。
 - → 不動産事業者に配布する。保育園、幼稚園なども対象になり得ると考えている。
- ・Web サイトのリンク先がきちんと更新されているか、確認しておくほうがよい。
- ・発行者は、未来会議単独ではなく、連合会と連名にすべきである。
- ・ (会長) 9月の連合会役員会で承認を受けてから、チラシの印刷と Web サイトのアップ を進める。

IT 普及準備委員会(会員&生徒募集)/地域 ICT 連携準備委員会について

- ・国を挙げてデジタル化が推進されており、鹿ノ台でもやれるところから着手していきたい。地域で ICT を活用するための準備として、スマホとパソコンを使える人を増やしたいので、IT 普及準備委員会設置を提案する。
- ・初心者向けにパソコン(8回)とスマホ(4回)の講座を開設し、これらをある程度使える人を一人でも多く育てていきたい。
- ・講師についても募集したい。
- ・これと並行して、地域で ICT を活用したデジタル回覧や安否確認など自治会活動のデジタル化をめざす地域 ICT 連携準備委員会を、鹿ノ台小学校区で立ち上げたい。

意見交換

- ・これらの委員会は、未来会議で運営するのか。
 - → 連合会傘下の委員会を立ち上げる準備を行うための組織である。
- ・スマホ/パソコンを持っている人が対象となっているが、そもそもどれを買ったら良い かわからない人も多い。
 - → そういう人向けに、相談コーナーも設置しようと考えている。

鹿ノ台自治会組織の点検と再構築の進め方について

・自治会組織の点検と再構築という議論を始める前に、そもそも連合会の配下にある未来 会議でこのような大きな議論をしてよいのかという懸念がある。本来は連合会の諮問を 受けてから、検討に着手すべきだと思う。 ・仮に諮問を受けたとしても非常に大きな課題であり、簡単に議論できることではないことは間違いない。

意見交換

- ・連合会という中央に集権させるのか、単位自治会が個別で活動するのか。いろいろな形が 想定できる。
- ・かつて鹿ノ台で大きな課題が出てきたときに単位自治会では対応できなかったため、連合会が立ち上がった経過がある。大きな課題に対しては、連合会と未来会議が両輪となって対応して行けばよいのではないか。
- ・今直面している課題に「自治会長の選び方」がある。例えば今年度の自治会長は現役世代が多く、平日に活動できない。自治会長の適切な選び方を検討すべきだと思う。また、単位自治会が連合会の指示待ちとなっていることも課題である。
- ・生駒市は単位自治会または校区単位の地域を支援しており、連合会は対象とされていない。
- ・自治会を辞めたい人が増えているなど、単位自治会だけでは解決できない課題もたくさ んある。
- ・ (会長) 議論は尽きないが、幅広く奥も深い非常に大きな課題であり、継続して検討していきたい。

支え合い活動の進め方

- ・高齢者は各々の状態によって 3 つに分類できる。第 I 層はある程度動ける人、第 II 層は 足腰弱者で移動送迎支援が必要な人、第 III 層は支え合いが必要な要援護者。
- ・このうち第Ⅲ層が問題である。この層に属する高齢者の状況は近隣が把握しているので、 単位自治会で取り組むのがよく、東1丁目と東2丁目ではすでに着手済であるが、その 他の地域では対応が進んでいない。いきいき街づくり会と単位自治会の連携などについ て、検討していく必要がある。
- ・ (会長) 重要な課題であり、このあと提案する分科会で取り上げたいと考えている。

分科会設置について

- ・これまでの議論で、中期計画(案)骨子において説明したとおり、具体的施策が必要な項目が7つ、見えてきた。
- ・未来会議のマンパワーに制限のあるなか、これらのうち「今までに相当程度の取組みがされているもの」、「今後連合会傘下の委員会で取組む予定のもの」、「将来取組む必要があるが今後の課題とするもの」は除き、下記の3つの施策について、それぞれ分科会を設置することを提案する。
 - 1. 子育てしやすいまちづくり
 - 2. 高齢者にやさしい支え合いのまちづくり
 - 3. 交流・賑わい・文化の香りのあるまちづくり
- ・構成員各位でどの分科会に参加するかを決め、それぞれの分科会にリーダー(場合によっ

てはサブリーダーも)を置いて検討を進め、その結果を定期的に全体会議で報告していた だきたい。

・分科会への参加は各位の自由であり、まったく参加しなくてもよいし、複数の分科会に参加してもらってもよい。

意見交換

- ・これら 3 つの施策に対しても対応は進んでいる。マンパワーがないなか、わざわざ分科会を設置する必要があるのか。
 - → 対応できている事項もあると思うが、すべてが対応できているとは思えない。時代・ 社会の変化に伴い、新しい課題が顕在化している。例えば、鹿ノ台の将来人口減少の 問題にどう対処するか、未来に向けて活動の担い手をどう確保するか、縦割りに組織 されている複数の委員会・関連団体間の横断的な連携・取り組みをどうするかなど、 分科会で議論を深め、提言にまとめていきたい。
 - → 分科会ではないが、すでに転入促進対策調査部会では、先行して取り組み素晴らしい 成果を出している。今後の分科会の進め方に大変参考になる。
- ・分科会を待っている構成員も少なくない。
- ・「子育てしやすいまちづくり」に関しては、子どもへの支援活動が弱い。仕事をしている 親が多く、子どもの居場所がない。学童へ通う児童が増え2学童体制となっており、さら に私立の学童が必要なのではないかという議論になっている。こういう課題は、全体会議 ではなく分科会で掘り下げて議論しないと、前に進んで行かない。
- ・いきいきホールのキッズルームは児童だけでは使えない。荒れている子どもを地域で支える仕組みがない。そのようなまちは冷たいまちに映る。このようなことをきちんと分科会で検討したい。
- ・学校と地域の関わりにはまだ議論の余地があると思う。どうしたらよいかはコミュニティスクールの枠組みだけで考えるのではなく、重層的に検討すべきである。
- ・分科会では具体的に何をするのか。課題が見えていないのではないか。
 - → 現状を分析すると課題が見えてくる。転入促進対策調査部会も当初から課題が見えていたわけではない。やる前から課題が見えていないのは当たり前だと思う。
- ・「未来会議」の看板があると、前に進んで行きやすいということはあると思う。
- ・7つの施策の全部を分科会にする必要はない。この3つでよい。
- ・大規模ソーラー設置などは、分科会でなくても検討を進めてもらったらよい。
- ・どれかの分科会には必ず参加する義務があるのか。
 - → まったく参加しなくてもよいし、複数の分科会に参加しても良い。
- ・継続審議としたらどうか。
 - → 月1回しかない会議で先送りすると1ヶ月間動けなくなるのがもったいない。
- ・(会長) 賛否両論があり、継続審議としたい。一方、提案にある3つの分科会への参加について、別途メールでご希望を聞きたいので、ご協力をお願いしたい。

自治連合会役員会との連絡会について

・9月の未来会議の前半を、自治連合会役員会との連絡会とする。

その他

・次回の会場設営は「南北」の構成員と幹事にお願いしたい。13 時にふれあいホール 2 階大集会室に参集をお願いします。

次回

日時

9月19日(日)13:30-16:00

※「南北」の構成員及び幹事は 13:00 集合

会場

ふれあいホール2階大集会室【会場変更につき、注意】

主な議題(案)

- 1. 自治連合会役員会との連絡会
- 2. 分科会の設置について
- 3. その他

以上